

令和8年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【学内】

日 本 文 学 専 攻
専 門 科 目 試 験 問 題

【言語・文学コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机の上には、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込みを許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和7年9月13日実施

問題 1 と問題 2 の問いにそれぞれ答えなさい。

《問題 1》

明治期～平成期の日本における具体的な作家の固有名を例示した上で、文体の観点から当該作家について分析せよ。(500 字以上)

《問題 2》

以下の用語群のなかから 1 点もしくは 2 点を選択して、その意味を解説せよ。どの用語を選択したかがわかるようどこかに明記すること。(計 500 字以上)

アーキテクチャ、アウラ、イデオロギー、インターセクショナリティ、エスノグラフィー、エスノメソドロジー、カルチュラル・スタディーズ、ケア、シニフィアン／シニフィエ、シミュラクル、ナショナリズム、シニシズム、ディアスポラ、ディコンストラクション、ディストピア、ファシズム、ポジショナリティ、ポスト・トゥルース、ポストコロニアル、ポストヒューマン、ポストフォーディズム、ポストモダン、ポピュリズム、ポリティカル・コレクトネス、ポストフェミニズム、マルチカルチュラリズム、メリトクラシー、リバタリアニズム、リベラリズム

【出題意図】

問 1

本研究科で大学院生として研究を進展させるうえで不可欠となる日本近現代文学に関する知識や問題関心を有しているかを問うとともに、自身の分析を論理的な記述に結びつけることが可能かを問うところに本問の出題の意図はある。

問 2

本研究科で大学院生として研究を遂行するにあたって不可欠となる現代思想や批評理論に関する基礎的な事項の知識を有しているかを問うとともに、それをコンパクトに解説することができるかを問うところに本問の出題の意図はある。